

仙台赤十字病院・宮城県立がんセンター統合新病院

基本構想が策定されました

日本赤十字社、宮城県及び地方独立行政法人宮城県立病院機構では、仙台赤十字病院と宮城県立がんセンターの統合に向けて、昨年12月に基本合意を締結し、その後、東北大学を加えた4者間で、新病院の診療科や医療機能などの協議を重ねてきました。

このたび、関係者間の協議を踏まえ、下記のとおり統合新病院の基本構想が策定されたのでお知らせいたします。

記

1 名称

仙台赤十字病院・宮城県立がんセンター統合新病院基本構想

(<https://www.sendai.jrc.or.jp/>)

2 新病院の基本情報

(1) 運営主体：日本赤十字社

(2) 建設予定地：名取市植松入生（約48,000㎡）

(3) コンセプト

イ 救急車をすぐに受け入れる病院

ロ 安心・安全な出産ができる病院

ハ 最適ながん医療を提供する病院

ニ 赤十字らしい病院

(4) 医療機能

イ 救急医療：救急告示医療機関

ロ 周産期医療：総合周産期母子医療センター

ハ がん医療：地域がん診療連携拠点病院、がんゲノム医療連携病院

ニ 災害医療：地域災害拠点病院、DMAT指定医療機関

ホ 新興感染症対応：協定指定医療機関

へ 地域医療：地域医療支援病院、紹介受診重点医療機関

ト 人材育成：臨床研修指定病院

(5) 診療科：標榜診療科35科

(6) 病床規模：400床程度（現時点での想定）

(7) 職員数：850名程度（現時点での想定）

(8) 建物規模：延べ床面積28,800㎡と想定

(9) スケジュール：開院は令和12年度（2030年度）中を目途とする。

(10) 事業費：約300億円